

WEST**End of Result Set**

Generate Collection

Print

L2: Entry 3 of 3

File: JPAB

Feb 21, 1992

PUB-NO: JP404054076A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04054076 A

TITLE: TELEVISION RECEIVER

PUBN-DATE: February 21, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NUMAGAMI, KOICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU GENERAL LTD

APPL-NO: JP02165001

APPL-DATE: June 21, 1990

INT-CL (IPC): H04N 5/60; H04N 5/66; H04S 1/00; H04S 5/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To allow the viewer to listen to plural audio signals on plural screens simultaneously in a stereophonic way by arranging plural switch circuits selecting a stereo surround audio signal processing circuit and a monaural audio signal processing circuit separately to a main audio signal left/right speaker and a surround left/right speaker.

CONSTITUTION: A changeover switch 4 of an audio signal system selects audio signals of outputs from tuner sections 1a, 1b, 1c, 1d and give them to an audio signal processing circuit 5 comprising audio multiplex demodulation, sound volume tone quality adjustment and low frequency amplifier circuit of the like. Moreover, the audio signals of outputs from tuner sections 1a, 1b, 1c, 1d are given to audio signal processing circuits 6a, 6b, 6c, 6d comprising sound volume adjustment and low frequency amplifier circuit or the like which outputs a monaural signal. In the case of plural screens from the tuner sections 1a, 1b, 1c, 1d, a switch 7 is thrown to select monaural signals being outputs of the audio signal processing circuits 6a, 6b, 6c, 6d and the audio signals from the tuner sections 1a, 1b, 1c, 1d corresponding to plural screens are outputted separately from main audio speakers L, R, and surround speakers Ls, Rs.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平4-54076

⑤ Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)2月21日

H 04 N 5/60
5/66
H 04 S 1/00
5/02

Z 6957-5C
D 7205-5C
G 8421-5H
8421-5H

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 テレビ受信機

⑯ 特 願 平2-165001

⑰ 出 願 平2(1990)6月21日

⑱ 発 明 者 沼 上 幸 一 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ受信機

2. 特許請求の範囲

(1) 複数画面表示機能を有するテレビ受信機等において、複数個搭載チューナ部出力の映像信号をそれぞれ対応する映像信号処理回路に接続し、同映像信号処理回路出力を複数画面表示用信号処理回路を介して受像管に接続する一方、前記チューナ部出力の音声信号をそれぞれ入力用第1の切換スイッチの各端子と対応するモノラル用音声信号処理回路とに接続し、同モノラル用音声信号処理回路出力をスピーカ回路出力用複数回路構成の第2の切換スイッチの一方の端子側に接続し、前記第1の切換スイッチの共通端子出力をステレオ・サラウンド用音声信号処理回路に接続し、同音声信号処理回路出力をそれぞれ前記第2の切換スイッチの他方の端子側に接続し、同第2の切換スイッチの共通端子出力それぞれを対応する複数のスピーカに接続してなる複数画面の音声を同時に

聴くことを特徴とするテレビ受信機。

(2) 前記複数画面に対応したモノラル用音声信号処理回路の選択により裏番組音声を出力してなる請求項(1)記載のテレビ受信機。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

複数画面表示機能を有するテレビ受信機等の音声信号処理回路に関する。

(従来技術)

第2図は、通常の音声信号処理回路5による主音声用左右スピーカ(SP)L、R、サラウンド用左右スピーカLs、Rsのステレオ・サラウンド方式である。第3図は、複数画面表示機能を有するテレビ受信機の場合で、複数画面受信用チューナ部1a、1b、1c出力の映像信号はそれぞれ映像信号処理回路2a、2b、2c、2d及び複数画面表示用信号処理回路3により受像管(CRT)を駆動し、又、チューナ部1a、1b、1c出力の音声信号は入力用の切換スイッチ4で複数画面の中から1系統の音声信号を選択し、音声信号処理回路6を通してスピ

一カを駆動する。従って、受像管に表示した複数画面に対する音声を単純に合成すると複数の音声は混合して聴き取りにくく、同時に聴くことができない。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は従来例に鑑みてなされたもので、複数画面表示機能を有するテレビ受信機において、複数画面表示時に複数画面対応の音声を複数のスピーカで同時に分離出力することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

本発明は、複数画面用チューナ部出力音声信号を選択するスイッチ回路出力のステレオ・サラウンド用音声信号処理回路と同チューナ部出力音声信号それぞれのモノラル用音声信号処理回路とを選択する複数のスイッチ回路を主音声用左右スピーカ及びサラウンド用左右スピーカに割り振ることに特徴がある。

(作用)

第1図に示すように、複数画面表示用チューナ部1a, 1b, 1c, 1d出力映像信号はそれぞれ映像

ューナ部1a, 1b, 1c, 1d出力の音声信号を選択し、同音声信号をステレオ・サラウンド信号として出力する音声多重復調、音量音質調整、低周波増幅回路等からなる音声信号処理回路5に接続する。更に、前記チューナ部1a, 1b, 1c, 1d出力音声信号をモノラル信号として出力する音量調整、低周波増幅回路等からなる音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6dに接続する。7は前記音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6d出力のモノラル音声信号と前記音声信号処理回路5出力のステレオ・サラウンド音声信号とを選択し、スピーカ(SP)L, R, Ls, Rsに音声信号を出力する切換スイッチである。例えば、チューナ部1bの単画面を再生する場合、スイッチ4を端子b側に切り換えて単画面の音声信号を選択し、更に、スイッチ7を↑A'方向に切り換えて音声信号処理回路5出力のステレオ・サラウンド音声を選択する。この場合、図に示していないが、ステレオまたはモノラルのモードとすることも可能である。チューナ部1a, 1b, 1c, 1dによる複数画面の場合はスイッチ7を↓

信号処理回路2a, 2b, 2c, 2dと複数画面表示用信号処理回路3とを介して受像管CRTを駆動する。一方、音声信号系はそれぞれモノラル音声信号を出力する音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6dと入力切換スイッチ4の選択によるステレオ・サラウンド音声信号を出力する音声信号処理回路5と出力用切換スイッチ7とからなり、同スイッチ7を↓B方向に切り換えて複数画面に対応した音声をスピーカ(SP)L, R, Ls, Rsより同時に分離出力する。

(実施例)

第1図に示す1a, 1b, 1c, 1dは複数画面を構成する映像信号及び音声信号を出力する複数のチューナ部、2a, 2b, 2c, 2dは同チューナ部1a, 1b, 1c, 1d出力映像信号系のY/C分離、映像増幅、色信号再生回路等からなる映像信号処理回路、3は同映像信号処理回路2a, 2b, 2c, 2d出力の単画面信号を合成して受像管CRT表示用映像信号として出力する複数画面表示用信号処理回路である。音声信号系の切換スイッチ4は前記チ

B方向に切り換えて、音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6d出力のモノラル音声を選択し、複数画面対応チューナ部1a, 1b, 1c, 1dの音声をそれぞれ主音声用スピーカL, R、サラウンド用スピーカLs, Rsより分離出力する。尚、図に示していないが、チューナ部を増設してより複数画面化も可能である。また、図に示していないが、複数画面に対応した音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6dの切り換えあるいは同音声信号処理回路6a, 6b, 6c, 6dの音量調整により出力主音声及び裏番組音声のシステム選択をすることもできる。例えば、2画面表示の音声を音声信号処理回路6a, 6b出力とし、画面表示の無い裏番組音声を音声信号処理回路6cあるいは6dの出力とする複数の組み合わせがある。

(発明の効果)

以上のように本発明は、複数画面用チューナ部出力音声信号を選択するスイッチ回路出力のステレオ・サラウンド用音声信号処理回路と同チューナ部出力音声信号それぞれのモノラル用音声信号

処理回路とを選択する複数のスイッチ回路を主音声用左右スピーカ及びサラウンド用左右スピーカに割り振ることで、複数画面の音声を複数同時に、しかも分離した状態で聴くことができる。また、裏番組音声出力とすることもできる。

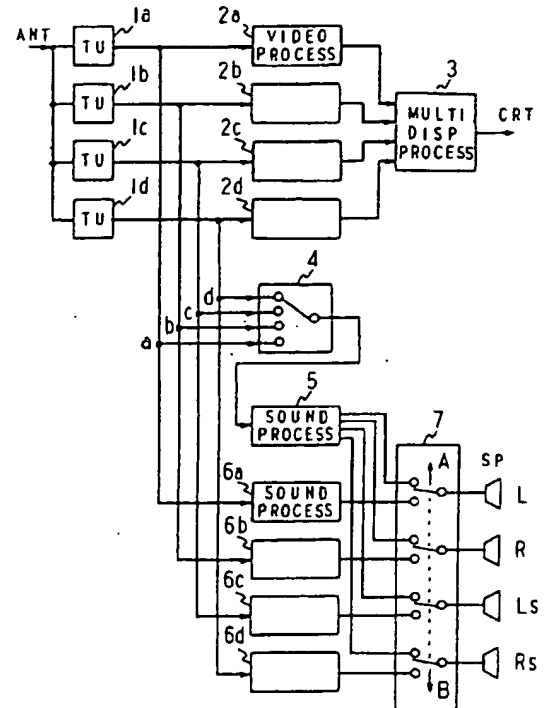
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す複数画面の音声を同時に出力処理する回路のブロック図、第2図及び第3図は従来の音声出力のブロック図である。

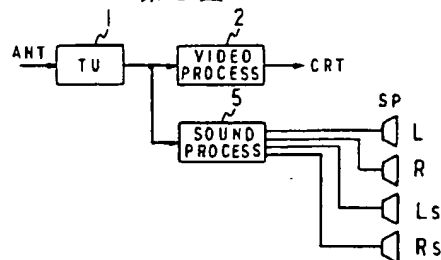
1a～1dはチューナ部、2a～2dは映像信号処理回路、3は複数画面用信号処理回路、5はステレオ・サラウンド用音声信号処理回路、6a～6dはモノラル用音声信号処理回路である。

特許出願人 株式会社富士通ゼネラル

第1図



第2図



第3図

